

トップインタビュー

「ハピネスをお客様に提供します」

株式会社 西鶴

代表取締役社長 山本 一郎 氏

所在地

ハピネスパーク交野霊園：交野市東倉治2-1521
ハピネスパーク牧野霊園：枚方市西牧野2-857-1

(今回の取材先)

ハピネスパーク千年オリーブの森：枚方市穂谷(大字) 4566
ハピネスパーク千年オリーブの森 堺・和泉：和泉市三林町845-15

事業内容 墓石販売、霊園開発

創業年月 1996年9月25日

従業員数 20名

資本金 900万円



☆会社について

私は、23歳の時、企業のノベルティグッズを販売する事業を起業いたしました。もともとバブルが崩壊し、どこかの企業も業績が落ち込みノベルティにける予算はみるみるうちに縮小されました。ちょうどその頃、学生時代にアルバイトをしていたお寺のある出来事がきっかけとなり、1996年9月25日に「株式会社西鶴」を創業し、墓石業界に参入することとなりました。

「西鶴」という社名は、江戸時代に活躍した大坂の浮世草子・人形浄瑠璃者の井原西鶴から名付けたものです。学生だった私は、図書館で井原西鶴の「日本永代蔵」を借りて読みました。その本の中に書いていた商売をする上での心得や、商人に対する戒めなどの教えに強く感銘を受け、いずれ起業することになれば、どんな商いをするにしても屋号は「西鶴」でいこうと決心いたしました。それと同時に、井原西鶴がそうであったように、「私自身も業界のコンサルタント的な立ち位置にいたい、唯一無二の企業を創ろう」という強い思いを抱くようになりました。

この仕事を始めてからはお客様から「ありがとう」と勿体無いぐらいの感謝の言葉をいただきました。ノベルティグッズの販売をしていた時は、この仕事が楽しいと感じていましたが、感謝されない、商談に行っても値切られる販売業では考えられなかった、ありがたい言葉の数々に、「お墓の仕事はいいな」って思い始め、どんどん夢中になっていきました。

☆会社の特色

家族がいつも気軽に訪れられる雰囲気、霊園が理想であり、灰色の石畳や墓石に囲まれた従来の墓地のイメージとは違い、明るく綺麗、居心地よく、トイレは広く清潔、バリアフリーでお洒落なベンチがあり、植栽豊かな公園のような欧風霊園、それこそがお客様が理想とし、私達が目指す「ハピネスパーク」と考えています。

車椅子の方、足腰の悪い方にも気軽にご来園いただけるよう、全面バリアフリーにしていますし、どのお墓からも50歩以内に水汲み場を設置し、水を入れた状態の移動距離も短くしました。

また、霊園内ではバラを育て花屋も常設いたしました。

霊園内でお花を市場から直接仕入れて売っている所は少なく、最初は周りの方々や同業者から反対されましたが、お墓参りのお客様は必ず買われますので



牧野霊園法要施設

プロフィール

1966年8月30日生まれのお乙女座、午年、A型。1990年大学に行きながら起業後、1996年西鶴を創業。趣味は海外旅行(40か国)、造園屋さんが手掛けたお墓巡り、日本拳法(師範)。個人的な信条は「継続は力なり」。尊敬、目標とされる人物は自分がチャレンジして出来ないことが出来る人、エジソン。家族は4人(妻、長男、長女)。



「続けたら必ず成功する」という強い信念がありました。その信念通り、昨今では手ぶらで墓参りできる霊園として認知していただけるようになりました。

☆夢

現在建っている昔ながらの霊園を改造していく事です。暗い、寂しい、陰気な霊園を改造して、お客様の大切な祖先や家族が、いつでもお墓参りできる明るく綺麗な公園のような空間を提供する霊園創りが夢であります。現在その夢の第一歩としてフランチャイズ計画が進行中であります。



牧野霊園

☆誇れるもの

従業員さんです。お墓を売る商売であっても、「人で売る」と思っています。そのために人材育成は必要ですし、お客様には、いつでも笑顔で全力のサポートが出来ますように、毎日曜日の早朝7時から幹部会議は必ず開催しています。

☆こだわり

お墓を購入されるお客様には一生に一度の大きなことでありますので、お客様から「満足できなかった」という苦情が無く、喜んでいただけますように引き渡しまでは責任を持って仕事をすることがこだわりであります。

☆大切なもの

お客様と従業員さんであります。私自身も従業員さんも、一人称(主観的な考え)になってはいけない、二人称(共感的理解)、三人称(客観的行動)になると相手に喜んでもらえると考えます。

近江商人の考え方で「三方良し」とありますが、我社は「四方良し経営」として、「私達が良し」「従業員が良し」「仕入先が良し」「未来が良し」を心掛けて、お客様や従業員さん、利害関係者を大切に思っております。

☆税について

税金は納めなければならないものと思っています。



電車写真

*インタビューの感想

インタビュー時に案内していただいた法要施設は、内装が洋風なお洒落な空間でした。霊園内も季節になれば咲き誇るバラの花やオリーブの樹木等で彩られ、公園のような欧風霊園でした。社長様がインタビュー内で言っておられたとおり、社長様のアイデア、閃きから生まれたことがお客様に喜ばれ感謝されて、とてもやりがいがあるお仕事だと思いました。霊園内には休憩や商談ができる電車もあり、ここが霊園?と錯覚してしまうほど素晴らしい場所でした。これからは進化されていく霊園が楽しみです。